

## 中央鉱山保安協議会（平成27年2月10日開催）-議事要旨

日時：平成27年2月10日（火曜日）16時00分～17時30分

場所：経済産業省別館310会議室

### 出席者

#### 学識経験者

山富委員（会長）、金子委員、田中委員、所委員、藤田委員、松岡委員、吉本委員

#### 鉱業権者代表

石井委員、後根委員、江口委員（山本代理）、戸高委員（※「高」は「はしごだか」）、成井委員、松本委員、森本委員

#### 鉱山労働者代表

嵐委員、井坂委員、志保澤委員、嶋影委員、吉岡委員

### 議題

### 報告事項

1. 第12次鉱業労働災害防止計画の実施状況について
2. 平成26年度全国鉱山保安表彰について
3. 「特定施設に係る鉱害防止事業の実施に関する基本方針（第5次基本方針）」に係る取組について
4. 金属鉱業等鉱害対策特別措置法施行規則の一部改正（案）について
5. 大水深海底石油・天然ガス鉱山開発に関する保安動向調査について
6. 石炭じん肺訴訟の現状について
7. 平成27年度鉱山保安関係予算案について

### 議事概要

#### 中央鉱山保安協議会会長の互選

会長の互選を行い、山富委員が会長に選任された。

#### 第12次鉱業労働災害防止計画の実施状況について

- ・ 保安管理マスター制度について、法令の理解度の向上が課題、そのため本制度の実施に必要な協力の継続をお願いしたい。また、鉱山関係者が法令理解を深めるため各地域の法令研修会への講師派遣等の支援をお願いしたい。
- ・ 中小鉱山保安強化には企業サイドだけでは限界がある。中小鉱山の保安レベルの底上げにつながる支援をお願いしたい。  
→（事務局）承知した。
- ・ 鉱山保安マネジメントシステムの実績は、自己評価なのか。外部機関の監査を踏まえた評価結果なのか。  
→（事務局）第12次計画策定前の評価は自己評価。計画策定後は鉱山の自己評価をベースに各監督部の意見を含め確定するようにしており、一定程度の客観性を持たせるようにしている。

#### 「特定施設に係る鉱害防止事業の実施に関する基本方針（第5次基本方針）」に係る取組について

- 坑廃水処理については、これまでもコスト削減の努力をしている。更なるコスト削減を進めるためにはパッシブトリートメントの導入等が挙げられるが、ある程度リスクを伴うことから、行政のバックアップが必要である。

---

## 大水深海底石油・天然ガス鉱山開発に関する保安動向調査について

---

- 将来的に我が国海域での大水深は、一部の海外メジャーと共同で開発する可能性も考えられるので、国際化の観点も捉えてこの調査を進めていただきたい。

---

## その他

---

事務局より、平成26年度全国鉱山保安表彰について等その他4件の報告が行われた。

## お問合せ先

商務流通保安グループ 鉱山・火薬類監理官付

電話：03-3501-1870

FAX：03-3501-6565

## 関連リンク

[中央鉱山保安協議会の開催状況](#)

---

最終更新日：2015年2月16日